

新しいまちづくりのかたち

人間牧場主 若松 進一



私たち大人が考えるまちづく

りは、ややもするとイベントや、そのまちの活性化についてのディスカッションに参加することだと思いがちですが、若者が考えるまちづくりはそんな単純なものばかりではなく、インターネットやブログでまちづくりの情報を交換したり、将来の大人である子どもたちを巻き込んだのワークショップなど、若者による新しい試みが各方面で始まっています。それは今までのまちづくりにはない「新しいまちづくりのかたち」とでもいうべきものなのです。

1 インターネットやブログでのコミュニケーション

私は昨年の9月からインターネットのブログを書いています。「shin-1さんの日記

記」というサイトに「人間牧場」というタイトルの、県外に出てない日は殆ど毎日朝夕2本程度の記事を書いているのです。パソコン教育を受けていない世代のインターネットが苦手な私が、何故ブログを書くようになったかは、県内高校へのまちづくりの講演がきっかけでした。

講演から帰ると、決まったように私の話を聞いた生徒さんから2〜3通のハガキが届きますが、そのハガキに「まちづくりの話は面白かったです。まちづくりの基本は自分の住んでる街を好きになることから始まるんですね。私のメールアドレスを書いておきます。メール下さい」と書いています。メールの仕方も知らない私は、これではいけないと思い猛

特訓で、自宅のパソコンから彼ら若者にメールが打てるようになりました。更には「私のブログを読んで下さい」なんて言われるともうお手上げだったのですが、幸い息子や娘婿の指導を得て、自分でも書いてみようとして、どうにか私のブログがスタートしたのです。

早いものであれから1年が経ち、多い日には100件ものアクセスがある人気ブログ(自分ではそう思っている)に成長しているのです。私のブログで一番多いコメントはまちづくり人からですが、高校生や大学生、青年団員など比較的若い人とのやり取りが多いのも特徴で、意識的に若者向きのまちづくり情報を流すと、同感や意見、反論といった感想が沢山寄せられます。

私たち大人は若者を「今時の若者は」なんて批判したり、若者も「大人なんて」と、お互いがお互いを理解しないまま批判して平行線を保っています。これは明らかにコミュニケーション手段の欠落が生んだ世代間意識断絶の悲劇なのです。私たち大人は、若者の持つコミュニケーション手段であるインターネットを大いに活用して、どんどん若者の心の扉を開いて行かなければならないと思うのです。まちづくりは、自分の住んでいる街に興味を持つことから始まります。それはまちづくり人から届く、楽しくて、新しくて、

美しいメッセージによって、まちづくりへの意識が芽生えるのですからとても重要なことです。変な関係ではない私のメル友には若い人が多く、もし私が以前のようインターネットをやっていないからと知らずと思うと、勇気を持って前に一歩踏み出したことを喜ぶこの頃です。最近ではデジタルで撮影した写真も挿入できるようになって、若者に魅力満載のブログとなり、若者とコミュニケーションが上手くいくようになりました。

2 若者育ての場作り

長年の夢であった非日常的な「人間牧場」が双海町にオープンして4ヶ月余り経ちました。その間、逆手塾や見学者を含めると予想以上に相当な人が訪れていますが、人間牧場で一番やりたいことは、

「水平線の家」から真北に見える由利島で20年間続けた「無人島キャンプ」の陸バージョンです。

既に45名の地元の子どもたちが参加して、教育委員会と協働の「青少年おも

しろ教室」なる実験事業を試みています。牧場の畑を耕してサツマイモを植えたりしていますが、環境教育やふるさと教育を暮しの視点で考えながら、子ども自身が設計図を書き、子ども自身が作り上げる、小さな「子ども村」の建設に向けて少しずつ夢を膨らませています。そのため高校生や大学生、青年団員といった若者に積極的に関わってもらいたいと思っています。

これに似た取り組みは、三好尚美さんたちが中心になって行っている「松山まちづくり未来塾」もこんな公園があったらいいなあ〜でも既に実践されています。これまでのような大人主導のまちづくりに参加させることも大切ですが、少し視点を変えて夢を語るころから出発し、若者の独創性と若さを多に発揮させれば、若者が主役の、これが「21世紀型のまちづくり」と呼ぶに相応しいものになること請け合いです。かつて私が青年の溜まり場「煙会所」を作った成果を収めたような、若者が育つ場づくりが求められています。

3 ワークショップによる地域資源の発見と計画づくり

このところ、路上観察や街歩きなどを通して地域資源を見つけ、地図上に書き



■若松進一ブログ「shin-1さんの日記」
<http://ameblo.jp/shin-1>

